

国と地方の協力による、ウィズコロナ時代における観光・交通政策の推進

奈良県の現状

【担当省庁】国土交通省、観光庁

- 本県においては、新型コロナウイルス感染症流行後、新しい生活様式の実践に伴う変容を踏まえ、ウィズコロナ時代の観光・交通政策のあり方について議論を進める必要があると考えている。
- 検討にあたっては、以下の観点から、あるべき姿やその実現のために必要な取組等を議論していきたいと考えている。

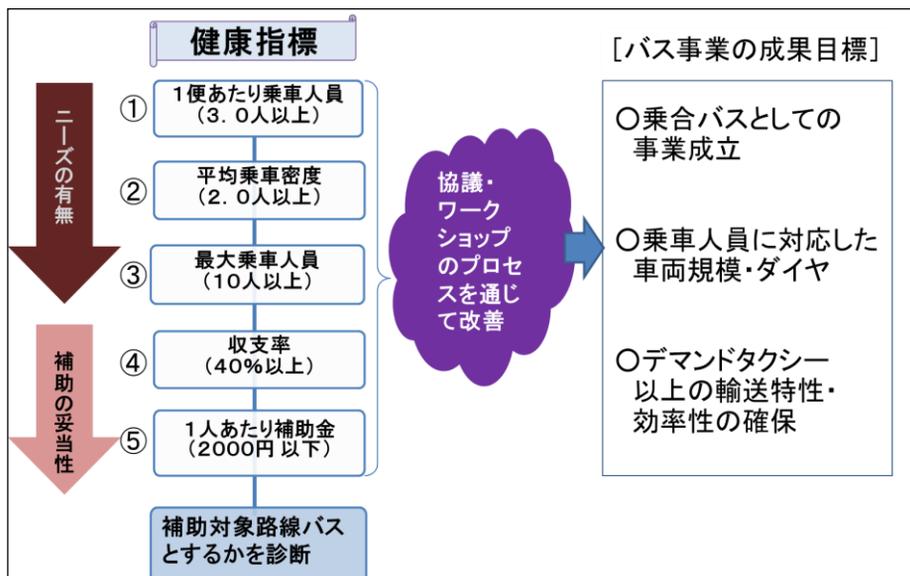
観光

- ・観光客サイド : 人々が観光に求めるものの変容
(3密回避、アウトドア志向、地域完結型の志向)
- ・観光地サイド : 人を呼び込むために必要な対策、感染防止と誘客促進の両立のための必要な取組
- ・地方行政の役割 : 観光と感染防止の両立のために必要な取組や支援の内容

交通

- ・利用者 : 公共交通の利用形態の構造的な変化
(ベッドタウンのオールタウン化や県全体での人口減少)
- ・交通事業者 : 「内部補助」による不採算路線の維持の限界
コロナ禍による経営への影響
- ・地方行政の役割 : 新しい暮らし方・働き方を踏まえた域内モビリティ需要を満たす交通サービスの確保

<参考>『バスカルテ』フロー(奈良県地域公共交通網形成計画)



課題

- 観光は地域の努力がまず第一であるが、観光による感染拡大防止策については、**全国共通のものが多いことから、国と地方が共通認識をもって進めていくことが必要。**
- 交通については、コロナ禍によりもたらされた**人々の移動形態の変化**を捉え、**地域公共交通の維持・向上の仕方を見直すことが必要。**
- 観光・交通の**海外や国内の事例、最新の知恵による対応方策**などについての**情報収集と分析が必要。**

国にお願いすること

- 国・地方が協力して今の状況を乗り切っていくため、ウィズコロナ時代の観光や交通のあり方・進め方の参考となるような調査・分析及び情報提供**をお願いしたい。
 - ・新型コロナウイルスに感染しない観光パターンの発見・推奨
 - ・国内外において観光・交通分野でとられた対策等を調査・分析
 - ・調査分析結果や優良事例等を適時に自治体へ情報提供
- 上記の調査や分析を踏まえ、国におかれては**ウィズコロナ時代の観光や地域公共交通維持改善の仕組みづくり**についての**リーダーシップ**を発揮していただきたい。
 - ・感染防止策や観光客の衛生マナーについて、適時適切な対策の明示
 - ・観光に不可欠な要素である宿・食・交通手段等のあり方について、個別具体的な対応策の明示
 - ・コロナ禍による地域公共交通の変化を踏まえた持続可能で利便性の高いモビリティの確保策